

地球温暖化対策地域協議会だより

2012. 2

●エココンテスト 1	●地球温暖化対策地域協議会サミット 7
●第3回緑のカーテンコンクール 3	●姉妹都市オーデンセ市職員による環境講座 7
●環境講演会 6	●節電のポイント 8
●第14回ふなばし環境フェア 6	●編集後記 8

エココンテスト・緑のカーテンコンクール表彰式および環境講演会を11月12日(土)に船橋市中央公民館にて開催しました!

エココンテスト

電気・ガスの使用量を少なくし、自分の家庭から排出される二酸化炭素(CO2)を削減することにより、身近でできる温暖化対策について考えていただくことを目的として、今年度初めてエココンテストを開催し、表彰式を行いました。

初めての試みにもかかわらず、65世帯から応募があり、参加された方のご家庭の中には、前年に比べ最大で57.8%(297kg-CO2)削減された方もおり、皆さんの地球温暖化への関心が高いことが伺えます。



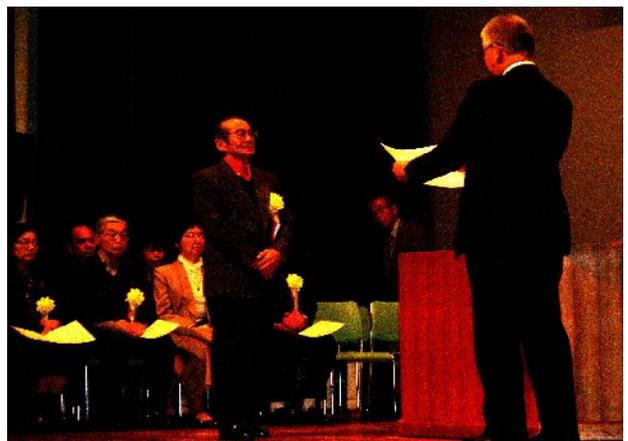
岩井協議会会長のごあいさつ



喜びの入賞者の皆さん



第1位に輝いた小平さまのご家族のスピーチ



賞状の授与



賞状の授与



賞状の授与

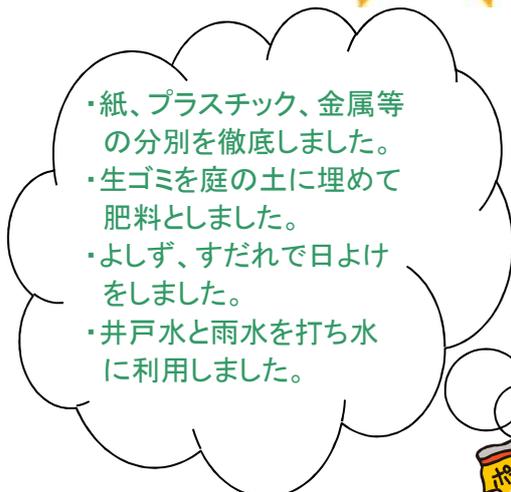
【受賞された皆さん】

順位	お名前	(削減率/削減量)
1位	小平 勝右 さま	(57.8%/297kg-CO2)
2位	鬼島 晃信 さま	(38.77%/315kg-CO2)
3位	小林 功 さま	(38.75%/265kg-CO2)
4位	坂本 信子 さま	(37.4%/245kg-CO2)
5位	大岩 紀夫 さま	(36.9%/340kg-CO2)

順位	お名前	(削減率/削減量)
6位	寺園 道雄 さま	(35.2%/298kg-CO2)
7位	中山 静夫 さま	(35.0%/280kg-CO2)
8位	三枝 聖花 さま	(34.8%/189kg-CO2)
9位	久田 伸子 さま	(31.7%/237kg-CO2)
10位	本木 次夫 さま	(31.3%/201kg-CO2)

※ 削減率および削減量は、平成22年と23年の6～9月の電気・ガスの使用量をCO2排出量に換算して比較したものです。

参加者の
皆様が
取組んだ
エコ活動



エココンテスト
平成24年度も開催します！
★取組期間
夏季の3～4か月間(予定)
★応募時期
9～10月頃(予定)



※ 図 クリップアートファクトリーより

第3回 緑のカーテンコンクール

緑のカーテンコンクールも今年で3回目を向かえました。今回モデル地区の設定を行ったところ、高芝地区とすすきヶ丘自治会が取り組み、その効果もあってか、個人の応募が133名、事業所・公共施設から35施設の応募がありました。

来場者からは、「来年、私もがんばってみよう。」「来年は参加したい。」などの感想をいただきました。

- ゴーヤ苗配布数：市民 700株，事業所・公共施設 1000株
- ゴーヤ種配布数：市民 350袋
- コンクール応募数：個人 133名，事業所・公共施設 35施設
- 観察記録のみの提出：個人 47名，事業所・公共施設 28施設

平成24年4月21日(土)
ゴーヤの苗を配布します！
配布数：600株(1世帯2株)
場所：天沼弁天池公園
『緑と花のジャンボ市』にて

表彰式



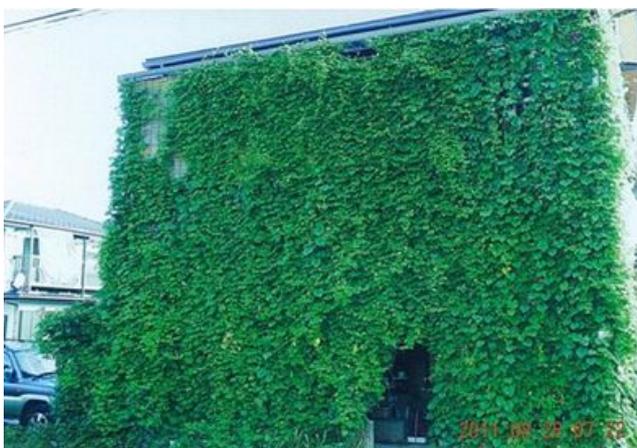
受賞者の皆さま



市長賞を受賞した阿部さまのスピーチ

船橋市長賞

個人の部



阿部 勇平さまの作品

事業所・公共施設の部



社会福祉法人清和会特別養護老人ホーム
ワールドナーシングホームさまの作品

船橋市地球温暖化対策地域協議会賞

個人の部



渡辺 敏夫さまの作品

事業所・公共施設の部



八木が谷公民館さまの作品

受賞者の方々

船橋市長賞

- 個人の部……………阿部 勇平 さま
- 事業所・公共施設の部…社会福祉法人清和会特別養護老人ホームワールドナーシングホーム さま

船橋市地球温暖化対策地域協議会賞

- 個人の部……………渡辺 敏夫 さま
- 事業所・公共施設の部…八木が谷公民館 さま

(財)船橋市公園協会賞

- 個人の部……………竹下 アイ子 さま
- 事業所・公共施設の部…東部公民館 さま



特別賞

- 個人の部……………森 しのぶ さま、白根 紀奈 さま、有松 祝 さま、橋本 たか子 さま
梅澤 信正 さま
- 事業所・公共施設の部…海神公民館ボランティア さま、松が丘児童ホーム さま、若葉保育園 さま
緑台保育園 さま、坪井中学校 さま、習志野台児童ホーム さま

協議会奨励賞

- 西海神放課後ルーム さま
- 三田公民館ゴーヤ見守り隊 さま

緑のカーテンコンクール

平成24年度も開催します！

★応募書類

緑のカーテンの写真、観察記録

★応募締切

9月上旬(予定)

受賞者のひとこと (工夫したことなど)

苗床を石灰で消毒し、牛糞・堆肥・鶏糞・腐葉土を入れ、苗を植えました。

5月に植えた苗の7割以上が、新芽を団子虫に食べられてしまい、1週間後、苗の周囲を団子虫用殺虫剤で囲む対策をしました。

4年目になりますが、植え付けるための土作りが大切なように思います。

野菜用の深くて大きなプランターで育てた事、朝夕欠かさずたっぷり水をあげた事が良かったと思います。

頂点に達した時、先を摘んで横に伸ばすことを心がけました。害虫予防として、消毒剤を数回まき、7月下旬に追肥しました。

太めの糸のネットを張り、強風でもネットが傷まないようにしました。

毎日の花の掃除、子づるの誘導は大変でした。

受賞者のひとこと (こんな効果がありました)

ゴーヤのカーテンの内と外では4℃ぐらいから10℃近くの温度差がありました。ヨシズも使ったので、さらに相乗効果があったと思います。

子どもたちとゴーヤの成長を観察して一緒に学べたことが良かった。見た目にも涼しげで直射日光が遮られ、エアコンの効果が上がり節電にも役立った。実がなって希望者全員に配り、家庭で味わう喜びも体験できました。

昨年と比較し、15%の節電となりました。

見た目が涼しげなことと、温度を測ると日向と日陰で2度ほど違いました。実際の節電につながったのではないかと考えています。

折り重なった葉のお陰で、この夏場の強い日差しが遮られ、景観と共に毎日食べきれない程の収穫を楽しみました。エアコンはほとんど使用しませんでした。

ゴーヤの実を近隣の方に配ったところ、大変喜ばれました。

環境講演会

千葉大学名誉教授 古在豊樹氏を講師に迎え、「身近な環境から地球環境を考える」をテーマとした環境講演会を開催しました。当日は、「緑のカーテンコンクール」「エココンテスト」の表彰式と併せて実施され、多くの方に来場していただきました。



テーマ「身近な環境から地球環境を考える」



講師 古在 豊樹 氏



綺麗な写真により目も楽しめました



講演に聴き入る多くの来場者の皆さん

※来年度のエココンテスト・緑のカーテンコンクールの表彰式・環境講演会は、平成24年11月17日(土)に中央公民館での開催を予定しています。

第14回ふなばし環境フェアへ参加し活動のPRをしました！

平成23年6月11日(土)に船橋市中央公民館において「第14回ふなばし環境フェア」が開催され、地球温暖化対策地域協議会も参加し、昨年度実施した「緑のカーテンコンクール」のパネル展示および節電や協議会の活動を紹介するパネル展示やパンフレット・チラシ等を配布し来場者へのPRを行いました。



市長による開会挨拶



ブースを出展してPR



クイズで楽しくエコ学習

※平成24年6月9日(土)に中央公民館で開催予定の「第15回ふなばし環境フェア」にも出展予定です。

地球温暖化対策地域協議会サミットに参加しました！

平成23年12月18日(日)に、千葉商科大学(市川市)において、地球温暖化対策地域協議会サミット「低炭素地域づくりサミット2011inいちかわ」が開催され、船橋市を含む7地域の地域協議会が参加し、基調講演およびパネルディスカッションの後、共同宣言(8協議会)を読み上げ採択されました。



パネルディスカッションで発言する大西理事

共同宣言(いちかわ宣言) (抜粋)

私たち地球温暖化対策地域協議会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、住民、事業者、環境活動団体、行政等が連携して地域に根差した地球温暖化対策に取り組んできました。

こうした中、3月11日に起きた東日本大震災は、甚大な被害をもたらし、今も私たちの生活に大きな影響を与えています。

しかし、私たちは、この未曾有の災害から多くのことを学びました。なかでも、電力需給の逼迫を受けて要請された今夏の節電は、私たち一人ひとりが自主的に行動を起こし、ライフスタイルや事業活動を持続可能なものへと変革しなければならないことを強く認識する契機となりました。一方、国では温暖化対策に直結する今後のエネルギー政策について、抜本的な見直しの議論が進んでいます。

このことを踏まえ、今私たち地域温暖化対策地域協議会は、地域間の交流を着実に進め、力を合わせ地球温暖化対策に取り組むことで、低炭素社会の実現を目指してまいります。

そして、次のことを共に確認し努力していくことをここに宣言いたします。

1. 地球温暖化対策地域協議会の交流を拡げ、取り組みを全国に発信する
2. 地域で取り組んでいる地球温暖化対策の知識・知恵の共有を進める
3. 地域の地球温暖化対策の課題の共有化と解決策を検討し、それぞれが行動する

姉妹都市オーデンセ市職員による環境講座に参加しました！

船橋市の姉妹都市であるデンマークのオーデンセ市から、環境部職員であり、また切り紙作家であるトーブン・クラウセン氏を講師に招き、『「地球に優しい生活」～環境に負荷をかけない暮らしについて～』をテーマとした環境講座が12月13日(火)、船橋市役所において行われました。オーデンセ市の概要、街の様子、市民の暮らしぶり、環境への取り組み、などについて通訳を交え紹介をしていただき、講演後、参加者との質疑応答が行われました。

また、船橋市を代表して協議会と協議会員の計4団体の活動発表があり、発表後には、トーブン・クラウセン氏から各団体に対し講評をいただきました。



講演をするクラウセン氏



環境パートナーシップちば・ふなばしの大西さんの発表



京葉ガスの吉岡さんの発表



クラウセン氏とアースドクターふなばしの舛田さん

節電のポイント

東京電力では、今冬は電力の安定した供給を確保できることから、無理のない範囲での節電への協力をお願いしております。協議会としまして、省エネや家計の節約、二酸化炭素の排出量削減等にも繋がりますので、体調に留意し無理のない範囲での節電にご協力をお願いいたします。

冬の節電のポイント

エアコン



- カーテンやブラインドを閉める
 - ・外からの冷気を防ぐことで、消費電力を削減することができます。
- 扇風機を使い暖気を循環させる
 - ・上部にたまった暖かい空気を循環させることで、効率よく部屋を暖められます。
- 定期的にフィルターの掃除をする(2週間に1回程度)

冷蔵庫



- 設定温度の再確認
 - ・冬場は気温が低いいため、食品の入れ具合に応じて設定温度を「弱」にしましょう。
- 扉の開閉をできるだけ少なく、時間を短くする
- 食品を詰め込みすぎない
 - ・効率よく冷やすために、冷気の吹き出し口付近を避け、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。

照明



- 不要な照明は、できるだけ消す
- 白熱電球からLED電球に変える
- 調光機能が使える場合は、明るさを下げる
- 部屋の広さに適したもの、インバーター式のものを選ぶ
- ランプ本体や照明器具のカバーをこまめにお手入れをする

テレビ



- 画面の明るさを下げる
- 見ていないときは消す
 - ・長時間見ない場合は、リモコンではなく主電源のスイッチを切るようにしましょう。

〈参考〉 船橋市役所ホームページより

※ 夏の節電のポイントについては、船橋市役所ホームページを参考にしてください。

URL; <http://www.city.funabashi.chiba.jp/kurashi/kankyuu/0007/p015429.html>

【編集後記】

前任者から引継ぎ、編集させていただきましたが、初めての作業であり、試行錯誤の末、やっと協議会だよりを発行することができました。その間、多くの方にご協力をいただき、またご迷惑をおかけしたことを、この場を借りてお礼ならびにお詫びさせていただきます。

今後も、定期的に発行できるようがんばって行きたいと思っておりますので今後も皆様のご協力をお願いいたします。

発行

船橋市地球温暖化対策地域協議会

【事務局】

船橋市環境部 環境保全課 地球温暖化対策推進室
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

TEL 047-436-2465 Fax 047-436-2487

E-mail ondanka@city.funabashi.chiba.jp

【ホームページ】

URL; <http://www.funabashi-ondanka.jp>

※次回の発行は、平成25年2月頃を予定しています。